



診察室や内視鏡室に置いて活用すべき 肛門部疾患の“丁寧なバイブル”

評者 板橋道朗 東女医大消化器病センター教授 消化器・一般外科

久しぶりに、若手医師へ自腹での購入をお勧めしたい本に出会えました。まさに感動です。本書は、“肛門部疾患のバイブル”と言えます。

読者の必要とするものは何かを非常に丁寧に考え抜き、緻密な計画をもってつくられています。まさに、直腸肛門疾患に対する著者の長年の真摯な診療そのものが反映された本と言えます。

ウェブで写真も動画も

何より、質の良い疾患画像やイラストが1,200枚以上、非常に豊富に掲載され、驚いたことにスマートフォンでウェブにアクセスすると、写真をみて取り込むことができます。もちろん、パソコンにもダウンロード可能です*。

肛門科でなければみることが少ない疾患も、写真入りで惜しみなく紹介されています。一例としてあげるならば、「自動温水洗浄便座症候群」をご存知でしょうか。「自動温水洗浄便座症候群」の患者さんの特徴的なおしりの所見が写真入りで紹介されています。肛門科でなければみることが少ないであろう疾患です。写真とともに疾患の治療法まで解説され、さらにウェブ動画配信のQRコードが盛りだくさんにちりばめられています。

ウェブページでは実際の手技の閲覧はもちろんのことですが、画像を用いて鑑別診断トレーニングなどでもできます。

私は、このような丁寧な本は初めて拝見しました。大学で医学部生に肛門疾患の講義を担当していますが、本書を学生に紹介して医学部図書館の蔵書とし、そして講義でも一部の写真を使わせていただきたいと思います。

私自身の実臨床でも「目からうろこ」のバイブルが手に入りました。私の書棚の『大腸癌治療ガイドライン』(大腸癌研究会、金原出版)のすぐ隣に置かせていただき、時間があれば拝読しています。

肛門科を目指す若手医師はもちろん、病院に勤務するすべての外科医・内科医にもお勧めしたい、まさに名著です。診察室や内視鏡室に置いておいて、バイブルとしての活用をお勧めします。

*画像の二次利用には転載許諾の手続きが必要です。



「おしりの病気」 アトラス

[Web 動画付]

見逃してはならない
直腸肛門部疾患

稲次直樹＝著

定価：本体 8,500 円＋税
A4・頁 256／医学書院／2019 年
[ISBN978-4-260-03955-0]